

「オールセラミックスにおける材料特性とCAD/CAMについて」

愛知県歯科技工士会
昭和支部
黒見 正太

平成26年度CAD/CAM冠保険導入により身近となったCAD/CAMシステムですが、それに付随する形でオールセラミックスの症例も増加しております。特にプレスセラミックス等の簡便な術式と、少ない投資で出来るシステムは更なる増加傾向にあるといえます。

しかし一方では、その簡便性が起因し、本来の術式から異なった使用による基本的なトラブルも多発しています。

また、近年は患者の歯科治療に対する知識も高まっており、審美領域の拡大や高いクオリティを求められる時代となりました。それに伴い、使用された材料までも追求される時代となりました。多種多様な材料と特性を最大限に発揮するためには、材料特性をよく理解したうえで使用することも大切であると考えます。

今回は、オールセラミックスとCAD/CAMを関連付け、プレスセラミックスやジルコニアについて着目し、材料の特性・取扱い方のポイントなどについてご案内させていただきます。